

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：保健体育費 目：体育振興費

事業名 全国ブロック高等学校総合体育大会派遣費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 体育健康課 学校体育係 電話番号：058-272-1111 (内 3590)

E-mail： c17769@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 15,553 千円 (前年度予算額： 16,796 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	16,796	0	0	0	0	0	0	0	16,796
要求額	15,553	0	0	0	0	0	0	0	15,553
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

毎年開催される全国高等学校総合体育大会等に参加する選手と監督の派遣費の1/5を補助することで、部活動に取組みやすい環境を整備します。

(2) 事業内容

下記大会に出場する選手及び監督の派遣費 (交通費・宿泊費) の1/5を補助する。

- ①全国高等学校総合体育大会 (定時制・通信制含む)
- ②東海高等学校総合体育大会 (定時制・通信制含む)
- ③全国高等学校選手権大会

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 県負担：補助率 1 / 5
- ・ 県立高等学校の保護者及び学校の経済的負担の軽減等の、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

- ・ 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	15,553	全国・ブロック高校総体派遣費補助金
合計	15,553	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 岐阜県清流の国スポーツ推進条例第 11 条
- ・ 清流の国ぎふスポーツ推進計画
- ・ 第 3 次岐阜県教育ビジョン
 - 基本方針 1 んふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成
 - 目標 4 優れた才能や個性を伸ばす教育の推進

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	県立高等学校運動部活動振興費補助金
補助事業者（団体）	岐阜県高等学校体育連盟 （理由）高校総体等の事業主体であるため。
補助事業の概要	（目的）保護者及び学校の経済的負担の軽減と高校生スポーツの振興を目的とする。 （内容）全国高等学校等に参加する選手と監督の派遣費（旅費と宿泊費）の1/5を補助する。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）補助率1/5 （理由）保護者と学校の負担軽減として経費の一部を補助。H22から1/5補助を継続。
補助効果	県内最高レベルの本大会に参加することは高校部活動の大きな目標になっており、学校教育の一環としてスポーツを通じた人間形成に貢献している。
終期の設定	終期令和5年度 （理由）終期の定めがないため、事業を点検する。

（事業目標）

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>毎年開催される全国高等学校総合体育大会等に参加する選手と監督の派遣費の1/5を補助することで、部活動に取組みやすい環境を整備します。</p>
--

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H**年度末)	目標 (R2年度末)	目標 (終期)
①全国大会派遣人数 (選手及び引率者)		1,058人	1,058人
②東海大会派遣人数 (選手及び引率者)		2,328人	2,328人

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	16,073千円	15,843千円	22,350千円	(予算額) 16,796千円	(要求額) 16,749千円
指標①目標	1,058人	1,058人	1,058人	1,058人	1,058人
指標①実績	997人	1,030人	988人	(推計値) —人	(推計値) 1,058人
指標①達成率	94.2%	97.3%	93.4%	(推計値) —%	(推計値) 100.0%

指標②目標	2,328人	2,328人	2,328人	2,328人	2,328人
指標②実績	2,189人	2,300人	2,187人	(推計値) —人	(推計値) 2,328人
指標②達成率	94.0%	98.8%	93.9%	(推計値) —%	(推計値) 100.0%

(前年度の成果)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、全国大会、東海大会ともに中止となった。

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
開催地が巡回することで経費が流動的に増減する。これに対する柔軟な対応が求められる。

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	学校や保護者の経済的負担を軽減するとともに、「スポーツ立県・ぎふ」を推進するために、派遣費の補助が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	出場する生徒は、県から補助を受けることで学校の代表であるだけでなく、県代表としての意識を強く持って大会に臨むことができた。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	事業実施主体である岐阜県高等学校体育連盟と連携して、経費や事務量に無駄が生じないように効率化を図っている。

(事業の見直し検討)

事業の評価を勘案し、事業継続が必要。

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止

(理由)